

お知らせ

■天宙聖和5周年を迎えるための母の国120日特別路程

来る2017年9月7日は「天地人真の父母天宙聖和5周年」を迎える日です。ここに日本家庭連合は「孝情の涙で天宙聖和5周年を迎えよう!」との主題で、21日間準備特別路程が終了する翌日の5月10日より新しく始まる第11次40日精誠路程を皮切りに、続く第12次から第13次までの3次にわたる40日路程を合わせ、9月6日までの120日間の期間を新しく編成して、この期間に真の父母様と一心・一体・一和・一念を成し、ビジョン2020勝利のために飛躍する期間として設定しました。特別に今回の120日特別路程の期間は、路程が始まるのと同時に、真のお母様が日本を直接訪問して下さり、東京の第5地区を中心とする1万2千名大会が開催されます。これまでの精誠の基台の上で、さらに一層真剣に今回の120日特別路程(第11次～13次40日路程)に取り組み、必ず各家庭が神氏族メシヤ活動を中心として勝利の実績をもって真の父母様に栄光を捧げ、天地人真の父母天宙聖和5周年を迎えたいと思います。

1. 名称:「天宙聖和5周年を迎えるための母の国120日特別路程及び神氏族メシヤ勝利と救国救世基盤造成のための第11次、12次、13次特別精誠路程」
2. 期間:5月10日(水)～9月6日(水)120日間(第11次～13次40日路程)
目標
① 天一国4大聖物を通じた1家庭以上の食口再復帰勝利
② 小冊子「天一国定着に向けた祝福家庭の姿勢」訓読及び1家庭以上に伝達
③ 2世圏青年祝福対象者1名、既成又は独身祝福1家庭以上勝利
④ 40日路程毎に教会や教区別既成祝福式及び再復帰者歓迎礼拝実施
⑤ 家庭礼拝・家庭訓読会の実施、及び安待日を守る
⑥ 世界貢献使命の完遂
⑦ 県別1万人大会勝利のための伝道対象者12人リストアップと祈祷精誠
⑧ 神氏族メシヤ活動の推進と地域家庭集会の定着と拡大

お知らせ

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

■お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

■東埼玉教区 飯野貞夫巡回師特別集会

日時:5月30日(火)21:00

場所:浦和家庭教会礼拝堂

■幸せを呼ぶ自叙伝心の書写東埼玉書写奉納伝授式

第4回 6月21日(水)

場所:プラザウエスト さくらホール

第5回 7月16日(日)

場所:プラザウエスト 多目的ルーム

第6回 8月11日(金・祝)

場所:埼玉会館

清平修練会案内

■清平1泊2日修練会(帰国は翌日になります)

5月 5-7(つつじ大役事) 12-13 20-21 26-27

6月 3-4 9-10 17-18 23-24

7月 1-2 7-8 15-16 21-22 29-30

(太字は先祖祝福式)

■霊肉界家庭出発修練会

6/9-10 6/23-24 9/2-3 9/22-23

■霊肉界マッチング修練会

7/7-8 7/21-22 11/10-11 12/8-9

■霊肉界祝福式

7/15-16 11/3-5

■未婚霊人祝福式

6/17-18

週報

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



宗教 世界平和統一家庭連合
法人 FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

教区長: 安 榮 變 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com
HP: <http://ucurawa.net/>



日曜礼拝式次第



説教者：
司会者：
伴奏者：

開	会		
黙	禱	全体
※聖	歌 聖歌 16番	全体
※敬	拝	全体
※家	庭	盟 誓	1番
代	表	祈 禱	
聖	歌	聖歌隊
説	教	聖和式説明復興会	
聖	歌 聖歌 19番	全体
感	謝	祈 禱	
お	知	ら せ	司会者
※祝	禱	執礼者
※全	体	祈 禱	全体
閉	会		

※起立して進行します

2017母の日孝情文化フェスティバル

「母の日」の5月14日午後、東京江東区の有明コロシアムで「2017母の日孝情文化フェスティバル in TOKYO」(主催・世界平和統一家庭連合)が盛大に開催され、新規ゲスト約2500人をはじめ、都内の教会に所属する教会員や平和大使、VIPなど約1万2000人が参加しました。

フェスティバルは午後2時に開演。家庭連合を紹介する映像上映、開会宣言に続いて行われたエンターテインメントでは、青年が中心となった歌やダンス、スピーチ、「母への手紙」の朗読など趣向を凝らした演出が参加者を魅了。天の父母様(神様)に対する孝の心情を意味する“孝情”の文化を分かち合う時間となりました。代表報告祈禱に続き、徳野英治会長が主催者挨拶。「この記念すべき母の日に、人類の真の母であられる韓鶴子総裁を摂理的な母の国・日本に迎えることが出来たことは、奇跡の中の奇跡です」と語りました。

韓総裁を紹介する映像上映のあと、文善進世界会長が登壇。「(韓総裁は)真なる夫の前に真なる妻として52年間侍ると共に、20年余りの間に14人の美しく貴い真の子女を生み、地上に真の家庭を打ち立てられました。絶対基準で完成された夫婦として、真の父母様(文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻)は共に人類の完全解放のために必要なすべてのことを成就されたのです」と語りました。日頃の母への感謝の思いを込めて「母の日」フラワーセレモニーを行い、会場全体で母の日を祝った後、韓鶴子総裁がステージ中央に登場、歓迎の花束と禮物を受け取られました。韓鶴子総裁は講演で、人類始祖アダムとエバの墮落以降の復帰摂理歴史の概要をキリスト教文化圏の発展史を中心として説明した上で、「キリスト教の基盤は、再臨のメシヤを迎える環境を整えるべきでしたが、神様を知らず、イエス様の本質を知りませんでした。神様の夢は、人類の真の先祖、真の父母となることだったのです」と語られました。

最後に、「世界の難問題、日本の様々な課題を解決するためには、まず天の父母様を正しく迎え、侍らなければなりません。絶対的権限をもった創造主、神様に侍る運動がまさしく家庭連合の運動です。神様の下の人類一家族となる夢を実現するうえで、皆様すべてが世界の前に母の立場で全人類を兄弟姉妹として育てていくことに全力を傾けてくださることを願います。きょうは母の日、母のような心で世界を抱いていきましょう」と呼び掛けられました。金満辰第5地区長のリードで億万歳四唱を行った後、フィナーレでは、会場全体でフェスティバルのテーマ曲である「Mother's Smile」を大合唱。盛況のうちにフェスティバルは幕を閉じました。

第35回「全日本聖和祝祭」を開催

天曆4月26日(陽曆5月21日)、快晴に恵まれた、尾瀬霊園(群馬県片品村)において、第35回「全日本聖和祝祭」が挙行され、日本全国より約2000人が参加しました。

今回の式典は、高知霊園、九州霊園(福岡県)などの全国の霊園と連結して行われ、ドローンを使った空撮など映像配信にも工夫を凝らし、全国の教会ではインターネット中継を通じて、多くの教会員が参加しました。

午前10時30分から行われた第1部のエンターテインメントでは、第3地区所属の小熊ファミリーアンサンブルによる家族演奏と、第5地区南東京教区渋谷家庭教会所属の聖歌隊「渋谷グリーンハーモニー」と同教会成和子女部「天花合唱団」が合同で三世代合唱を披露、3曲の演目を勇壮に歌い上げました。

近藤 徳茂 総務局長の司会により始まった第2部の聖和祝祭では、全体で黙禱を捧げた後、野村晏子さん(43双)の代表報告祈禱、主礼の徳野英治会長夫妻による中央祭壇への献花がありました。

尾瀬霊園の戸丸廣安園長が2016年度の年次報告と年間入園者数などを報告したのち、徳野会長が尾瀬霊園発展のために貢献された方々に功労者感謝状を贈りました。

徳野会長は記念説教の中で、2057人の聖和者への慰労と感謝の意を述べた後、宋龍天全国祝福家庭総連合会総会長からのメッセージを代読、「家庭を完成させ、個人と家庭が天国に入らなければなりません。そのために真の愛を実践し、120日路程に精誠を込めて下さい」と伝えました。

その上で、真のお母様のみ言を紹介しながら、「私たち祝福家庭が、霊界の聖和者と共に、強く伝道の勝利を決意し、神様と真の父母様の夢である『天一国』創建に向かって、霊肉合同作戦で邁進しましょう」と力強く訴えました。